

新技術調査表 (1)

		登録番号		0501002		
名 称	鋼製スリットウォール工法				作成年月日	2015年12月 日
					更新年月日	年 月 日
副 題	盛土補強材にチェーンを用いた補強土擁壁の新工法				開発年月日	1994年 月 日
分 野	① 1 共通 2 道路 3 公園 4 河川 5 海岸 6 砂防 7 その他	区 分	② 1 材 2 工 3 製 4 機 5 その他 料 法 品 械 材 工 品 械 料 法 品 械	大 分 類	特 記 項 目	
				擁壁工	壁面剛性補強土擁壁	
開 発 者 等	開 発 会 社	会社等名	スリットエンジ株式会社		担当部署	技術課
		担当者名	有本 公央		TEL	073-488-4418
	提 案 会 社 兼 問 い 合 せ 先	会社等名	村本建設株式会社		担当部署	営業統括部
		担当者名	澤村 清貴, 西川 健生	〒 102-0084	TEL	03-3238-2125
		住 所	東京都千代田区二番町3-4		FAX	03-3238-2020
ホームページ	http://www.muramoto.co.jp/		e-mail	KIYOTAKA_SAWAMURA@muramoto.co.jp		
<p>【概要】 鋼製スリットウォール工法は、ボルトにより連結された鋼製壁面材（スリットウォール）と、チェーン・横向鉄筋・末端固定金物で構成される補強材（チェーンマット）による補強土壁工法である。 工法の原理は、チェーンマットに作用する土圧力と、チェーンマットが盛土材と一体となって抵抗しようとする引抜抵抗力との釣合により安定を保つ工法で、チェーンが持つ独自の補強効果により高い安定性と壁面の剛性が得られる。鋼製スリットウォール工法の補強材であるチェーンマットはその構造から、チェーンによる摩擦抵抗力、支圧筋及び末端固定金物による支圧抵抗力が一体となり、面的補強に近い効果が得られると考えられる。また、壁面材であるスリット枠は、ボルトにより剛結された一体型壁面で、壁背面の土に拘束力を与えることができるので、補強土壁としてより高い安定性を保つことができる。</p> <p>【特徴】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・部材が軽量で運搬が容易である。また資材置場が小面積で済む。 ・壁面材の背後直近まで、盛土材をローラー転圧することができる。 ・壁面材は施工時に作用する主働土圧に対して選定されており、剛性が高く壁面の変形が小さい。 ・壁面勾配も現地の状況に合わせ、直～5分勾配まで可能である。 						

新技術調査表（2）

実績件数	東京都： 0 件 国土交通省： 9 件 その他公共機関： 277 件 民間： 17 件	(内訳) 東京都	建設局： 0 件 都市整備局： 0 件 港湾局： 0 件	水道局： 0 件 下水道局： 0 件 交通局： 0 件 その他： 0 件	
特許	1 有り	2 出願中	3 出願予定	④ 無し (番号：)	
実用新案	1 有り	2 出願中	3 出願予定	④ 無し (番号：)	
評価・証明	1 技術審査 (番号：) 2 民間開発建設技術 (番号：) ・証明年月日 () ・証明年月日 () ・証明機関 () 3 新技術情報提供システム[NETIS] 4 その他 () <small>(番号) (証明年月日)</small>				
キーワード	①安全・安心 ②環境 ③ゆとりと福祉 ④コスト削減・生産性の向上 ⑤公共工事の品質確保・向上 ⑥リサイクル ⑦景観 自由記入				
開発目標 (選択)	①省人化 ②省力化 ③作業効率向上 ④施工精度向上 ⑤耐久性向上 ⑥安全性向上 ⑦作業環境の向上 ⑧周辺環境への影響抑制 ⑨地球環境への影響抑制 ⑩省資源・省エネルギー ⑪出来ばえの向上 ⑫リサイクル性向上 ⑬その他				
従来との比較	従来の材料名・工法名： 1 工程 ①短縮 (25%) 2 同程度 3 増加 (%)] () 2 省人化 ①向上 (28%) 2 同程度 3 低下 (%)] () 3 経済性 ①向上 (15%) 2 同程度 3 低下 (%)] () 4 施工管理 ①向上 2 同程度 3 低下] () 5 安全性 ①向上 2 同程度 3 低下] () 6 施工性 ①向上 2 同程度 3 低下] () 7 環境 ①向上 2 同程度 3 低下] () 8 汎用性 ①向上 2 同程度 3 低下] () 9 品質 ①向上 2 同程度 3 低下] () 10 その他 ()				
【歩掛り表】 標準 ・ 暫定					
【施工単価等】 (記入例) 直接工事費 (□箇所当り)					
比較項目		単位	従来工法 ○○工法	新規工法 △△工法	効果
工程		日/箇所	3	3	0%
省人化		人日/箇所	12	15.6	-30%
経済性	材料費	円/箇所	790,000	840,390	-6%
	工事費	円/箇所	767,000	425,490	45%
	その他	円/箇所	243,000	309,400	-27%
	材工共	円/箇所	1,800,000	1,575,280	12%
【施工上・使用上の留意点】					
【参考資料】					

新技術調査表 (3)

検査・試験データ等

建設局
事業への
適用性

新技術調査表（4）

新技術調査表（5） 《実績表》

	局名	事務所名	工事件名	施工期間	CORINS 登録 No.
東京都における施工実績			なし		
	【評価等がある場合、その内容】				
東京都以外の施工実績（国土交通省・地方自治体・民間等）	発注者	工事件名	施工期間	CORINS 登録 No.	
	国土交通省	春日和田山道路整備工事	平成13年11月		
	国土交通省	春日和田山道路和田山 JCT 改良工事	平成15年11月		
	国土交通省	広角残土処分地堰堤工事	平成18年5月		
	鹿児島県	国道447号線工事	平成20年5月		
	山形県	留山川ダム作業所工事	平成20年5月		
	奈良県野迫川村	林道災害復旧峰平線工事	平成24年11月		
	和歌山県紀ノ川市	市道調月三和線道路新設	平成26年12月		
	林野庁近畿中国森林管理局	第二野路山林道工事	平成21年1月		
	林野庁四国森林管理局	浅木原作業道新設工事	平成22年10月		
JR 東日本	ガーラ湯沢スキー場工事	平成22年5月			
【評価等がある場合、その内容】					